

\$\$明星(白川小だより)\$\$

HPで『白川小だより』
をご覧ください。
白川小学校で検索を!

令和2年 1月21日発行
第50号
文責:三谷



『であい、ふれあい、そして未来へ』~自分を発揮し 求め続ける白川っ子の育成~

\$もちつき集会(第3回土曜授業)\$ ←1月18日(土)

恒例の「もちつき集会」が行われました。浅野 正様の実習田で収穫したもち米を使って、給食室で蒸しを上げ、体育館で餅つきを行いました。体験学習等でお世話になった地域の方をお招きして感謝の気持ちを伝えました。

なかよし班別に並んだ後、児童会役員さんの司会で開会式は始まりました。開会式後は、お父さんやお母さんにもお手伝いいただき、つきたてのお餅を高学年の子どもたちが、「大根おろし餅」「きなこ餅」「いそべ巻き」「お雑煮」に準備してくれました。子どもたちからは、「〇個食べたよ・・・」、「もうちょっと食べよっかな・・・」等の声が班別のテーブルから聞こえてきました。また、地域の方と色々なお話をして交流も深まったと思います。

新1年生の子どもたちも初めての体験学習で美味しそうにお餅をいただきました。食事後に、お世話になった地域の方々に子どもたちから感謝状を手渡しました。多岐にわたる体験学習でお世話になった白川地区まちづくり協議会を代表して林 次雄会長から本日のお礼の言葉をいただきました。ご多用の中、お手伝いにお集まりいただいた保護者・地域の皆様、ありがとうございました。最近、白での餅つきをあまり目にしたことのない子どもたちにとっては有意義な時間となりました。



\$百人一首大会(第3回土曜授業)\$ ←1月18日(土)

1限目に低学年と高学年で2つの教室に分かれて、小倉百人一首大会を行いました。図書委員の子どもたちが中心となって、前日にかきた(札)を並べました。当日は、2~3人の対戦で、学年が上がるにつれて、読み手が上の句を読んでいる時から下の句のかきた(札)を探している子どもの姿がありました。6年間の学習の積み上げ(継続は力なり!!)が発揮されていることを感じた1時間でした。



\$ 避難所研修会 \$ ←1月19日(土)

地震や自然災害等の緊急時、本校の施設は市の指定避難所に指定されています。万が一の時を想定して、避難所運営に関する研修会が地域の方も参加して行われました。

第一部は、県男女共同参画センターの方を講師にむかえて、【すべての人に「やさしい避難所」を目指して】～男女共同参画の必要性と多様性の配慮～という演題で、東日本地震・熊本地震を参考にして、避難所運営時に考慮しなければならない点を講演会形式で研修がありました。

第二部では、実際に避難所を運営する場合に心がけなければならないことをゲーム（HUG）形式で研修を行いました。もし、避難所として運営する場合の体育館の配置や避難してみえる方の状況等を考えて、地域の方とともに注意しなければいけないことや配慮しなければいけないことを相談しながら、体育館の平面図を利用して考えました。近年、台風や地震、ゲリラ豪雨等大きな災害が発生しています。自然災害は、いつ何時どここの場所に発生するかわかりません。日頃から、もしもの時に備えて考えておくことが大切であると感じました。

\$ すみがく：価値観・・・「権利の熱気球」 \$ ←1月20日(月)

5限目に「一人ひとりの想い（大切にするもの）について考えよう」をテーマに、「権利の熱気球」をもとに考えました。



【場面設定】

今、あなたは熱気球に乗っています。熱気球が強風に吹かれてどんどん高度が下がっています。このままだと、海に落ちてしまいます。熱気球についている重りを捨てて、高度を上げるために、あなたならどの重りを残しますか？

という設定から、なかよし班で自分が大切にするものと友だちが大切にするものが違うことに気づき、色々な考え方を持っている集団での自分がどうしていかなければいいのか考えました。

より良い人間関係を築くには、人それぞれの価値観を認め合い受け入れることが大切です。「価値観」とは、大切に思っている（＝価値を置いている）物事への考え方ということで、「価値観」は、具体的に温かくお互いの意見や考えを尊重しながら接することや相手の立場に立った励ましや援助等を含む色々な親切な行為として現れます。子どもたちにとって、まずは身近な人に広く目を向けて、温かい心で接し、温かい心をとどけたいという気持ちを深めることが大切だと思います。

特に、体験学習（身近にいる幼い人や高齢者の方等との直接的なかかわり合い）を通して、相手のことを認め、受け入れることで具体的に親切な行為ができるようにすることが必要であると思います。そうして、多くの人とかかわっていく中で、親切にした方もされた方も互いに温かい気持ちになり、人間関係を和やかなものにしていけることを、今後の活動を通して体感してほしいと思っています。

↓こどもたちの感想から↓



- 一人ひとりのいけんがちがったことが、あらためて分かりました。このはんで、かどうしていくのも後すこしだけど、一人ひとりのいけんをみとめていきたいです。
- 私は、この勉強で一人ひとりの想いを受けとめるのはむずかしいけど、人の気持ちを考えて行動できる人間になりたいです。
- かんじたことは、自分の意見を言いながら、相手の意見をうけとめることが、大事だと思いました。
- なにをやっても、みんなが同じではないので、みんなの意見を受けいれることが大事だとわかりました。今日も、班でいっぱいしゃべれて良かったです。いろんなみかたでみると、「あ、そういう考えがあるんだ」とわかんと思います。
- ある意見が多いから、あれではなく、自分の意見をそんちょうしつつ、他の意見も大事にすることが大切だと思う。今からでもできなくはないので、やっていきたいです。
- 人それぞれ想いや考えはちがうから、しっかり受け入れることが大切だと思う。人の考えをきいて、自分の意見も言っていきたい。
- 一人ひとりの意見や考えを大事にしないといけないと授業でわかった。いつもは、同じ意見が多かったりするけど、中学校になったら、たくさんの意見が出ると思うから、自分の意見も人の意見も大切にしようと思った。
- 一人ひとりの想いや考えを大切にすることは、これからもしていかなければいけないことなので、もし、自分ができていなかったら、直していきたいと思います。一人ひとりの意見がちがうことはたくさんあると思うので、その意見や考えを受け入れて、自分の意見も言っていきたいです。